

第5回目は「M&Aを選択した経営者の気持ち」についてお伝えします。

「息子は会社を継がないって言うし、社長の仕事が終わる社員もいないけど、廃業したら取引先や社員に迷惑をかけてしまう」と嘆きながらM&Aを検討される経営者か

名南M&A事業開発部M&Aアドバイザー

西田 純也



いる一方で、「会社を成長させるためには、大きな資本の傘下に入ることが最善策だ」と思うこと業など環境や状況が大きく影響しているわけですが、人間の情が絡むこともその一因であることは間違いありません。M&Aのプロセスは、

M&Aを選択した経営者の気持ち

「会社を成長させるためには、大きな資本の傘下に入ることが最善策だ」と思うこと業など環境や状況が大きく影響しているわけですが、人間の情が絡むこともその一因であることは間違いありません。M&Aのプロセスは、

へ向かっていくプロセスが、結婚のプロセスに似ていることが所以です。さらにもう一步踏み込めば、そのプロセスの中で、経営者の気持ちやM&Aの成否を大きく左右することも、結婚に例えられる要因の一つではないでしょうか。

もいるものです。会社の経営者に共通することは、事業を存続発展させるために血の滲むような努力をされてきたことでしょう。そんな経営者にとって会社を譲渡することは、大切な子ど

もを婿嫁に出すようなものです。それを自分の意思で決めるわけですから、決して簡単な決断ではありません。われわれM&Aアドバイザーは、経営者の揺れ動く気持ちやプライドに、細心の注意を払いながら、時には振り回されながらも柔軟な対応が求められます。

時折結婚に例えて語られることがあります。M&Aアドバイザーからの紹介やプラットフォームでのマッチングという出会いがあり、お互いを知った上でM&Aや経営統合

前段でも触れた通り、ひと括りに経営者といっても、置かれた環境や状況はさまざまです。裸一貫で事業を起こした経営者もいれば、既定路線のように先代から事業を引き継いだ二代目三代目の

経営者や予期せず独立させるを得なかった経営者

経営の出口としてM&Aを選択した経営者の気持ち

◇にしだ・じゅんや 大学院修了後、会計事務所およびコンサルティング会社に就職。税務申告や経営コンサルティングをはじめとした中小企業の経営支援業務に従事。2021年3月より名南M&Aに参画し、地銀顧客の事業承継・M&A支援を担当。22年10月より、部署を移して主に会計事務所との連携に取り組んでいる。